

第12回蒲郡市産業振興会議 会議録

開催日時	令和7年10月14日（火）午後2時～午後4時		
開催場所	蒲郡市役所本館3階303会議室		
蒲郡市産業振興会議委員	出席者（敬称略） ◎：会長 ○：副会長		
	機関名または企業名	役職	氏名
	蒲郡商工会議所	会頭	小澤素生 (株式会社ニデック 代表取締役社長)
	蒲郡市農業協同組合	代表理事組合長	鈴木茂正 (蒲郡市農業協同組合 代表理事組合長)
	蒲郡市漁業振興協議会	会長	小林俊雄 (三谷漁業協同組合 代表理事組合長)
	蒲郡鉄工会	会長	近藤昌泰 (株式会社近藤鐵工所 代表取締役会長)
	蒲郡金融協会	代表	岩崎篤雄 (蒲郡信用金庫 常務理事)
	株式会社金トビ志賀	代表取締役	志賀重介
	稲葉製綱株式会社	取締役専務	稲葉千穂子
	愛知工科大学	工学部機械システム工学科教授	渡部吉規
	愛知大学	地域政策学部教授	◎戸田敏行
	蒲郡市	産業振興部部長	池田高啓
	【欠席者】		
	機関名または企業名	役職	氏名
	蒲郡市観光協会	会長	杉山和弘 (株式会社明山荘 代表取締役社長)
	小池商事株式会社	代表取締役社長	小池高弘
	株式会社ミスコンシャス	代表取締役社長	小山絵実
	豊橋技術科学大学	大学院工学研究科機械工学系教授	○高山弘太郎
事務局等出席者	機関名または企業名	役職	氏名
	蒲郡市	産業振興部観光まちづくり課長	山田浩隆
	蒲郡市	産業振興部観光まちづくり課 課長補佐	鈴木隆夫

	蒲郡市	産業振興部農林水産課 係長	久田雄一郎
	蒲郡市	産業振興部産業政策課長	竹村太郎
	蒲郡市	産業振興部産業政策課 課長補佐	黒田俊介
	蒲郡市	産業振興部産業政策課 課長補佐	永谷礼子
	蒲郡市	産業振興部産業政策課 産業立地推進室長 室長	坂口敏行
	蒲郡市	産業振興部産業政策課	吉見健児
	蒲郡市	産業振興部産業政策課	磯部大和
	蒲郡商工会議所	中小企業相談所長	松岡祐志
議題	<p>(1) 主な施策の進捗状況について</p> <p>ア 観光まちづくり課</p> <p>(ア) 西浦園地及び周辺エリアの将来構想策定について（資料１）</p> <p>【基本戦略０２挑戦への支援：地域経済循環の促進】</p> <p>(イ) 蒲郡市観光まちづくりビジョンの改訂について（資料２）</p> <p>【基本戦略０３連携の推進：観光と多様な産業の連携】</p> <p>イ 農林水産課</p> <p>(ア) 知柄漁港及び周辺エリア整備基本構想策定（資料３）</p> <p>【基本戦略０２挑戦への支援：地域経済循環の促進】</p> <p>ウ 産業政策課</p> <p>(ア) 次世代につなぐ地場産業活性化プロジェクト（資料４）</p> <p>【蒲郡市産業振興促進プロジェクト１】</p> <p>(イ) がまごおり産業創造プラットフォーム構築プロジェクト（資料５）</p> <p>【蒲郡市産業振興促進プロジェクト４】</p> <p>(2) 委員所属団体の取組みについて</p> <p>ア 蒲郡商工会議所（資料６）</p> <p>イ 蒲郡鉄工会（資料７）</p> <p>ウ 蒲郡金融協会（資料８）</p> <p>エ 稲葉製綱株式会社（資料９）</p> <p>オ 金トビ志賀（資料１０）</p>		

	カ 愛知工科大学（資料１１）
会議資料 ※省略	<ul style="list-style-type: none"> ・議事次第 ・資料１ 西浦園地及び周辺エリアの将来構想策定について ・資料２ 蒲郡市観光まちづくりビジョン改訂委託業務実施方針 ・資料３ 知柄漁港及び周辺エリア整備基本構想策定の概要 ・資料４ 「GAMA LOVE FES」チラシ ・資料５ がまごおり産業創造プラットフォームの構築について ・資料６ 「蒲郡商工会議所」報告資料 ・資料７ 「蒲郡鉄工会」報告資料 ・資料８ 「蒲郡金融協会」報告資料 ・資料９ 「稲葉製綱株式会社」報告資料 ・資料１０ 「金トビ志賀」報告資料 ・資料１１ 「愛知工科大学」報告資料 ・蒲郡市産業振興会議 出席者名簿 ・座席表 ・意見提出用紙
会議内容	<p>１ 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会議における説明 ○ 配布資料説明 <p>２ 第 11 回蒲郡市産業振興会議録の保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 戸田会長による署名 <p>３ 議事</p> <p>今回は、「主な施策の進捗状況について」、「委員所属団体の取組みについて」の２点の議題が挙げられています。それでは、「主な施策の進捗状況について」事務局から説明をお願いします。（会長）</p> <p>（１）主な施策の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光まちづくり課から「西浦園地及び周辺エリアの将来構想策定について」、「蒲郡市観光まちづくりビジョンの改訂について」について説明。 ・ 農林水産課から「知柄漁港及び周辺エリア整備基本構想策定」について説明。 ・ 産業政策課から「次世代につなぐ地場産業活性化プロジェクト」、「がまごおり産業創造プラットフォーム構築プロジェクト」について説明。 ・ ありがとうございました。ご関心のあるところについて、委員から挙手いただいてコメントあるいはご質問をいただきたいと思います。（会長）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「知柄漁港及び周辺エリア整備基本構想策定の概要」について、計画策定には県も入っているか。また、用途変更の申請はしているのか。(委員) <ul style="list-style-type: none"> → 計画策定に県も入っており、東三河の水産関係の部署にも報告している。用途変更については、まだ基本構想を練っている段階で、具体的な手続きはしていない。(事務局) → 計画を策定する前に用途変更の手続きも進めていった方が良いと感じる。(委員) ・ 「知柄漁港及び周辺エリア整備基本構想策定の概要」について、遊びに来る方が利用する駐車場はどのように考えているか。(委員) <ul style="list-style-type: none"> → 駐車場については、「海業ゾーン」「緑地ゾーン」のそれぞれを整備する想定で考えている。(事務局) ・ 「知柄漁港及び周辺エリア整備基本構想策定の概要」について、P F Iを導入するにあたってのスケジュール感があれば教えてほしい。(委員) <ul style="list-style-type: none"> → 全てが順調な場合、令和9年度以降に実施方針の策定、事業者選定となり、その後に基本設計・実施設計と進み、令和12年度頃に工事着手、令和13年度頃に開業の想定で考えている。(事務局) ・ 「次世代につなぐ地場産業活性化プロジェクト」について、一時のイベントで終わると意味がない。今後の展開としてはどのようなことを考えているのか。また、「がまごおり産業創造プラットフォーム構築プロジェクト」については、市が業務として実施するだけでは、浅い内容にならないか。(委員) <ul style="list-style-type: none"> → プロジェクトは3年続けたことにより、繊維業の中で縦の連携だけでなく、横の連携が生まれるようになった。また、今年度実施したGAMA LOVE FESでは、高校や大学などの若い世代が関わってくれており、若い世代と交わる取組みを、今後はテックスビジョン等に引き継いでいくことを検討している。プラットフォームについては、セミナー等を実施しながら、段階的に共創が生まれるものだと考えている。また、計画通りに進むかわからないが、ワーキンググループでの話し合いを重ね、必要に応じて軌道修正していきたいと考えている。(事務局) ・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム構築プロジェクト」「西浦園地及び周辺エリアの将来構想策定について」スケジュール感はどのように考えているか。(委員) <ul style="list-style-type: none"> → 「がまごおり産業創造プラットフォーム構築プロジェクト」については、フェーズ1で2～3年、フェーズ2で2～3年、そして徐々にフェーズ3として、各
--	--

	<p>テーマや業種別のプロジェクト・コンソーシアムが形成されることを想定している。(事務局)</p> <p>→ 「西浦園地及び周辺エリアの将来構想策定について」については、令和 9 年度に基本計画策定、令和 10 年度に基本設計、令和 11 年度に実施設計、令和 12 年度に施行のスケジュールで考えている。(事務局)</p> <p>・ 「蒲郡市観光まちづくりビジョンの改訂について」について、改訂の理由・目的を教えてください。(委員)</p> <p>→ 現在のビジョンは令和 3 年 9 月に改訂されており、新型コロナウイルスというキーワードが散見されている。今回の改訂では、新型コロナウイルスを前提としない内容にする改訂を予定している。(事務局)</p> <p>(2) 委員所属団体の取組みについて</p> <p>・ 蒲郡商工会議所から「南海トラフ地震に備える実践セミナー」「トークセッションセミナー 現場の“もやもや”から始める DX 共創」「DXを進めるための課題明確化セミナー」「産地活性化講演会 地味で古い会社でも若手がワクワクする仕組みづくり」「おらがの店じまん」「三河繊維産地の総合展示会 テックスビジョン 2025 ミカワ」について紹介</p> <p>・ 蒲郡鉄工会から「蒲鉄塾」「情報交流委員会の例会」について報告</p> <p>・ 蒲郡金融協会から「地域密着型金融推進計画に係る令和 6 年度の活動報告と令和 7 年度の活動について」「食の国際総合展示会 FOOD EX JAPAN 2026 出展者募集状況と海外販路拡大支援事業の振り返り」「ローカル 10000 (国庫補助事業) 活用による信金業界の取組と観光と多様な産業連携への市内企業の取組」「DX 推進に資する市役所と SNS (LINE) 連携について」を報告</p> <p>・ 稲葉製綱株式会社から「沖縄×稲葉製綱」「ロープネット遊具×稲葉製綱」「第 1 回蒲郡女子会 (サバ会) 開催」について紹介</p> <p>・ 株式会社金トビ志賀から「令和 6 年度仙台市 NanoTerasu トライアルユース事業」について報告</p> <p>・ 愛知工科大学から「愛知工科大学次世代自動車システム研究所・情報メディア学科 合同講演会」「東三河産学官交流サロン アニメによる地域まちおこしの今」「愛知工科大学×蒲郡市立図書館 サイエンスひろば」「第 1 回愛知工科大学出張講義 アニメでまちおこし！デジタルエンタメの世界」について報告</p>
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒲郡市漁業振興協議会から「スマート牡蠣養殖実証事業」について報告（委員） ・ ありがとうございました。それでは各委員から全体に関してご意見をいただきたいと思います。（会長） ・ 費用対効果や数値目標などを示してもらえると、それぞれの事業をイメージしやすくなると感じた。また、事業を進める中で、市役所内の横の連携もぜひ進めていただきたい。（委員） ・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム構築プロジェクト」について、蒲郡市農業協同組合としても関連するところがあると思う。関われるところがあれば、関わっていききたいと思う。（委員） ・ 今後も持続的に実施できる漁業にしていきたい。牡蠣養殖にも力を注ぎ、地域の水産業の発展を目指して取り組む所存である。今後も地域の皆様のご支援をお願いしたい。（委員） ・ 企業用地の確保について、現在の進捗状況を教えていただきたい。（委員） <ul style="list-style-type: none"> → 今年度は、市内の小規模事業者（製造業）中心に訪問し経営者の声を聞いた。制約の少ない操業環境で、同業者・異業種が連携しやすいミニ工業団地への立地は非常に魅力的であり、新たな企業用地の早期実現が期待される。一方で、既存設備の更新が思うように進まない経営状況下では、資金面で新たな用地取得は考えにくいという声もあった。引き続き造成費用を抑えた事業手法の研究や土地取得の負担を軽減する施策の研究を進めていきたい。また、要望の多かった補助率が高く要件や手続きを緩和した小規模事業者向けの設備投資補助金の創設に向けて準備を進めていきたい。（事務局） ・ 市内事業者の新規ビジネス展開に向けて、協力していきたい。（委員） ・ 「がまごおり産業創造プラットフォーム構築プロジェクト」について、行政が持っている情報や各企業・団体が持っている情報を、このプラットフォーム内で共有できると良い。（委員） ・ 小さい製品を作る会社であれば、小さい工場で製造することが可能である。そのため、小さい製品を作る会社であれば、広い土地がなくても誘致することが可能ではないかと思う。このあたりに知恵を使って検討していければ良い。（委員） ・ 販売力を高めるためには、ホームページなどの広報の力は重要である。広報活動
--	---

	<p>のポイントがあれば教えていただきたい。(委員)</p> <p>→ 単なるロープの販売だけでなく、使用目的などから最適な素材等を提案する旨もホームページでPRしており、相談してもらいやすい要因なのではと考えている。(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの施策について効果検証を進めつつ、必要に応じて軌道修正を行いながら、引き続き取り組んでいきたいと考えている。(委員) ・ それぞれの施策を推進し、その成果を効果的に発信することが重要である。また、今はどこも人材が不足しており、クリエイティブな人間が集まる場所はとても大事である。それぞれの施策のプロセスを公開していくことで、それを面白いと感じた企業や若者、様々な人々の参画を促し、連携が進むと良い。(会長) <p>(4) その他</p> <p>事務局より、今後各業界のKPI項目追加に関する依頼をさせていただく旨を案内。</p>
--	--